

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況（使途の公表）

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果
				うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）			
矢板市	意向調査の準備作業	森林経営管理事業	370	370			森林GIS等森林基本情報の更新および意向調査発送前の森林現況調査の実施。	森林GISシステム更新 意向調査発送前調査面積（リストアップ127.05ha）	税活用により ・地域林政アドバイザーが主体となって、新たに59件の意向調査を実施し、33件に回答を得、内21件の管理委託の希望があり、森林の適正管理につなげられる状態となった。 ・市管理林道の修繕等により、林業事業体が行う皆伐や間伐等の施業の促進につながり、森林が整備された。 ・新たに創設した「林業従事者支援事業」では、林業事業者および林業事業体への各種支援を実施することで、UIJターン2名の担い手確保に貢献した。 ・本市の公共施設「矢板市子ども未来館」の改修工事では、床・壁等の木質化や木製遊具の設置により、木材の積極的利用と普及啓発が促進された。 【詳細】 本市は、約7,600haの民有林の約8割が森林経営計画策定済みの状況にあり、約2割の未済の森林について、「意向調査実施方針」を作成し取り組んでいる。 結果、計画通りの意向調査の実施および、集積計画の作成・公告ならびに、経営に適した森林については集積計画実施権配分計画を作成・公告し、森林整備が促進されている。 令和2～4年の市管理林道の年次計画を作成し、維持管理・修繕に取り組んでいる。 結果、事業体が実施する林業施業と相互に関連づけることで、森林整備の加速化につながる効果が期待できる。 市は、矢板地域の林業成長産業化を目的とした組織（矢板市林業・木材産業成長化推進協議会）が、雇用促進を図る各種事業を実施することに対して補助金を交付する仕組みを構築し、担い手不足解消に寄与している。 税の有効的活用については、「矢板市森林経営管理推進協議会」を設置し、事業のあり方について専門的見地からの意見を求め、参考としている。
矢板市	意向調査	森林経営管理事業	1,005	1,005			アンケート形式による意向調査の実施。意向調査の結果や集積計画作成申出書受付により、市が管理を受託することになった森林の現況調査や経営管理権集積計画作成のための測量等の実施。	現況調査面積（4.42ha） 意向調査数・面積（59件・32ha） 集積計画申出者数（9件） 集積計画作成・公告数（20件・8.36ha）	
矢板市	林道・林専道の整備等	林道維持補修事業	6,672	6,671		1	主伐等林業施業に必要な市管理林道の維持管理・修繕の実施。	市管理林道補修（500m） 市管理林道法面・法壁・水路等修繕工事（9箇所）	
矢板市	担い手確保	林業成長産業化地域創出モデル事業	994	994			林業従事者雇用促進を図るための各種支援事業（「UIJターン林業従事者の賃貸住宅家賃等支援事業」「林業研修及び資格取得等促進事業」「林業従事者安全衛生対策事業」）を実施する団体（矢板市林業・木材産業成長化推進協議会）への補助。	UIJターン林業従事者（2人） 林業研修及び資格取得者（延べ18人） 林業従事者安全衛生対策事業者（5事業体）	
矢板市	専門員の雇用	森林経営管理事業	3,472	3,472			地域林政アドバイザーの雇用（会計年度任用職員）し、森林整備の促進を図る。	地域林政アドバイザー（1人）	
矢板市	木造公共建築物の整備等	子育て総合支援拠点運営事業	147,585	2,860	10,701	134,024	子育て総合支援拠点「矢板市子ども未来館」施設整備における内装・備品等の木質化。	木材使用量（約7m ³ ）	
矢板市	森林・林業・木材普及活動等	元気な森づくり事業	1,269	480		789	各任意団体による森林整備体験（レクリエーション）を通じた普及啓発活動への補助。	森林整備活動団体（3団体）	
矢板市	木質バイオマス利用推進	森林環境整備事業	500	500			切捨て間伐等の林地残材を木質チップへ利活用することで、森林整備促進を啓発する団体への補助。	バイオマス用材の集材（600t）	
矢板市	基金積立（森林整備等）	森林経営管理事業	10,469	10,469			主に、後年に間伐等の森林整備実施のための基金への積立。		